

質

疑

発言者 太 田 安由美

発 言 の 要 旨 (その1)
1 競輪場再整備について
(1) 今回のチャリ・ロトの不祥事は、高松競輪場再整備事業に影響を与えないのか。
(2) 場外発売ができない期間が発生することは、契約条件に反するのではないのか。
(3) 人件費や建築資材の高騰の状況が不透明な中、契約のスケジュールどおり高松競輪場再整備は行われるのか。
(4) 競輪競技非開催日や、夜間に津波警報が発令された場合の津波避難ビルとしての避難誘導マニュアルは、整備されているのか。
(5) 具体的に、広い競輪場施設のどこを物流拠点として使用しようとするのか、運用の方法
(6) 高松競輪場における、災害ボランティアセンター設置訓練を実施する予定はあるのか。
(7) 報奨金の割合を5対5に戻し、収益増に伴う部分については、一般会計への繰り出しや基金への積み増しを行う考え
(8) チャリ・ロトが、キャッシュレス端末の導入を包括業務委託契約期間内に行わず、本市が新たに資金調達をして、キャッシュレス端末を導入した経緯
2 給食アレルギー対応について
(1) 住んでいる地域によって、給食のアレルギー除去食対応に格差があることに対する本市の見解
(2) 2つのセンターから保温・保冷ができるトラックなどで、除去食を巡回提供する考え
(3) 学校・保護者・調理場間のやり取りを確実に、また、スムーズに行うため、除去食希望の対応を全校で統一する考え
(4) 本市において、Aアラームのような給食におけるアレルギー品目通知アプリを導入する考え
(5) 学校給食アレルギー対応委員会において、当事者の意見を聞く場を設ける考え

発 言 の 要 旨 (その2)

3 ヤングケアラーについて

(1) 本市が実施しているヤングケアラー相談窓口の相談状況、及びヤングケアラー訪問支援事業の利用状況

(2) 新年度予算で計上されている、配食見守り事業の事業内容、対象世帯の見込み

(3) 配食見守り事業の推移を検証しつつ、内容を充実させていく考え

(4) スクールソーシャルワーカーの配置についての認識、現状と配置拡大の考え

(5) ケアの対象となる方を、福祉や介護等のサービスに適切につなげるよう取り組む

考え

(6) 子どもの権利条約に基づいて子供の権利・人権を守っていくために、今後ヤングケアラーの子供たち、及びケアの対象である家族に対して、どのような支援を行っていくのか。